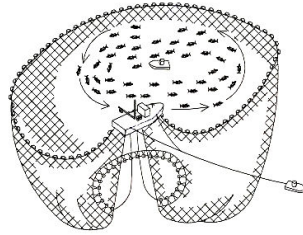


用途別の網地の材質

・まき網漁法用網地の材質

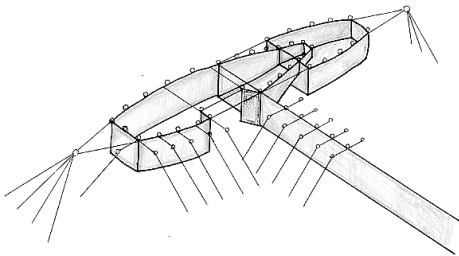
まき網漁法は主にアジ、サバ、カツオ、マグロ等を漁獲する漁法で、まき網漁具の形状は略台形の形状をし、船にこの漁具を搭載し魚群を見つけたら、まき網漁具を順次海に投入し、魚群を包囲する漁法です。まき網漁具の大きなものは、長さは大よそ 1,500m、深さは大よそ約 250m程度で、重さは大よそ 30 トン以上で大変大きなものです。使用されている網地には一般にはナイロン、ポリエステルが使用されています。



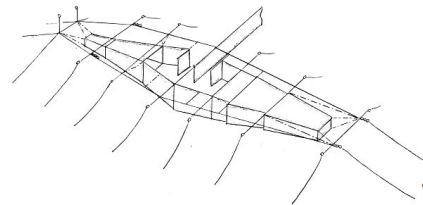
まき網

・定置網漁法用漁網の材質

定置網漁法は大きく分けると沿岸に設置され、主に回遊してくる魚特にブリ、アジ、イワシ等を漁獲する浮き式定置網と、北海道、東北沿岸に設置されサケを漁獲する底定置網があります。浮き式定置網の形状は箱型をしており、箱の形状は大きいものでは長さは大よそ 350m、幅は 100m、深さは 60m~70mと大変大きなものである。魚群を箱網に導くための垣網が設けられています。使用されている網地には一般的にはポリエステル、ポリエチレンが使用されています。



浮き式定置網

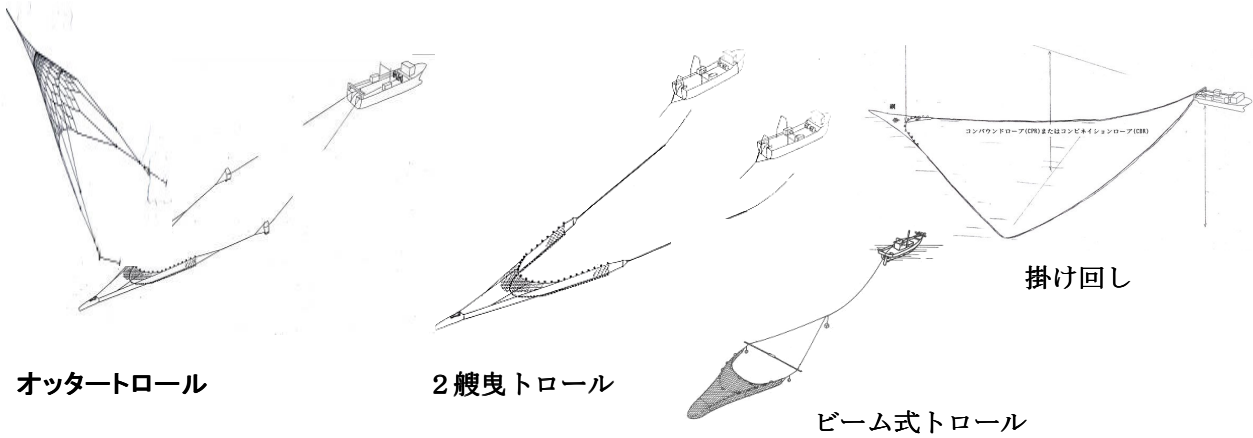


底定置網

・曳き網漁法用網地材質

引き網漁法は大きく分けると、漁具を海中で開かせるための拵網版(オッターボード)を使用したオッタートロール漁法、2 艘の船で網を曳く 2 艘曳トロール、予め漁具を海中で開いた状態するためにビームを取り付けたビーム式トロール漁法、海中で漁具を開かすための装置は取り付けず、引き網漁具に長いロープを取り付け、このロープを海中に幅広く投入しこれを巻き上げながら、網を移動させる掛け回し漁法等があります。使用されている網地には主にポリエチレンが使用されています。

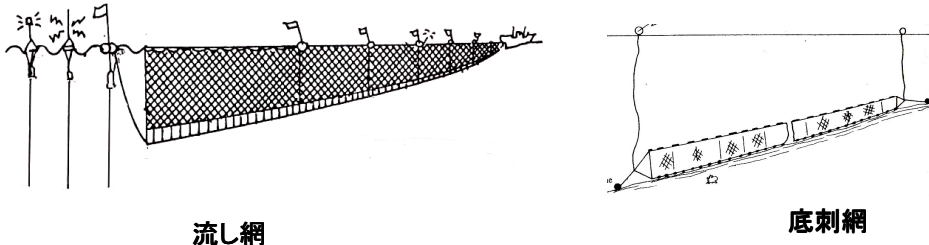
オッタートロール漁具で大きなものは、網口の高さが 50m~60m、幅が 100m 近くあり、漁具の全長は 500m にも及ぶものがあり、漁獲対象はスケトウダラ等で、掛け回し漁法での代表的な魚種はカニ、スケトウダラ、ホッケ等です。



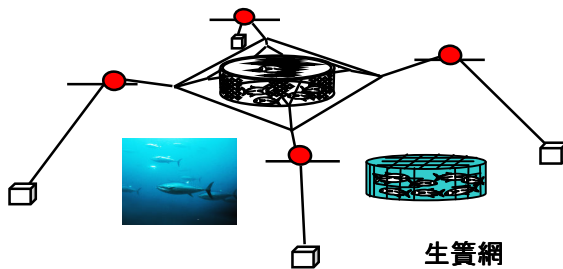
・刺網漁法網地

刺網漁法は大きく分けます、流し網漁法と底刺網漁法とに大別されます。流し網漁法は主にサケ、マス、底刺網はカレイ、ヒラメ、タラ等の底魚を対象にしています。

流し網の形状は手拭状の長方形で、海面近く網数十キロにわたって設置します。網地には主にナイロンモノフィラメントが使われていますが、極少数ですがマルチフィラメント糸も使われています。



漁法別の網地は大きく分けると上記のようですが、このほか海苔養殖用網にはビニロンが使用され、魚類の養殖用網にはポリエチレンが使用されています。



以上から、漁網は大きく分けるとナイロン、ポリエステル、ポリエチレン、ビニロンとなりますが、近年高強力糸(アラミド繊維、ポリエチレン繊維)も使われています。

・陸上ネット(網)

陸上ネットは大きく分けると、スポーツ用ネット、土木・建築用ネット、農業用ネットに大別されます。スポーツネットの代表的な網は防球ネット、ゴルフネットで網地はポリエチレンが多く使われています。土木・建築用ネットは安全ネット、ビル工事の養生ネット、落石防止が主なものです。安全ネット網地の多くはポリエステル、養生ネット、落石防止ネットにはポリエチレンが多く使用されています。農業用ネットは国内では殆んど生産されていませんが、近年獣害ネットが多く生産されています。獣害ネットの網地には多くはポリエチレンが使用されています。一部にはステンレスとの混燃、強力繊維との混燃されたものも使用されています。

以上から陸上ネットの網地は主にポリエステル、ポリエチレンとなります。